

授業名	地域と福祉		
英文授業名 ※大学によっては英文成績通知書の記載のために必要となりますので、必ずご記入ください。	Community and Welfare		
開講期間	2026 年度 前期		
単位数	2 単位		
授業提供大学	佐久大学		
主担当教員氏名	根本 貴子		
副担当教員氏名	狩野 徹		
授業のねらい ※該当しないものは削除してください。  ※授業で得られる地域活性化人材の能力と対応するように本授業の達成目標を設定してください。  ※「～することができるようになる」「～することができる」という形での目標設定を推奨します。	授業で得られる 地域活性化人材の能力	⇔	本授業の達成目標
	α 信州の活性化に係る知識・技能	⇔	<ul style="list-style-type: none"> <li>各福祉課題発生の背景や要因について説明することができる。</li> <li>今日の地域社会において存在する福祉課題とその解決および対応の現状について理解することができる。</li> <li>福祉課題に関わる各専門職の役割について理解することができる。</li> </ul>
	β 信州の活性化に係る課題を発見・解決するための思考力・判断力・表現力	⇔	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉課題の解決に向けた対応方法について説明することができる。</li> <li>福祉課題の解決に携わる各専門職と連携および協力方法を説明することができる。</li> </ul>
授業の概要	今日の地域社会には多様な福祉課題が存在する。本授業では各福祉課題を概観し、その発生背景や解決方法等について学ぶ。また、福祉課題の解決は福祉の専門職だけで対応する訳ではない。地域内に存在する多様な関係者との連携や協働により対応される。課題解決に向けた人々の関わり方についても学んでいく。		
授業の計画	第 1 回	地域福祉という視点 (担当 旭川市立大学保健福祉学部 長谷川 武史)	
	第 2 回	災害時のボランティア・福祉支援と地域福祉 (担当 長野県社会福祉協議会 山崎 博之)	
	第 3 回	貧困問題の現状と子どもの貧困に対する実践活動 (担当 長野大学地域共生福祉研究所 佐藤 もも子)	
	第 4 回	貧困と生活困窮者問題 (担当 佐久大学人間福祉学部 下村 幸仁 *授業収録時点))	
	第 5 回	更生保護 (担当 佐久大学人間福祉学部 林 宏二)	
	第 6 回	矯正施設の現状と福祉的支援 (担当 府中刑務所 桑原 行恵)	
	第 7 回	生活を支える住環境デザイン (担当 佐久大学人間福祉学部 狩野 徹)	
	第 8 回	地域生活と住環境 (担当 レストラン竹とんぼ 竹内 次男)	
	第 9 回	社会福祉と社会的企業 (担当 松本大学総合経営学部 李 省翰)	

	第 10 回	ワーカーズコープの理念と実践 (担当 長野県高齢者生活協同組合 田中 夏子)
	第 11 回	地域における保健師の活動 (担当 佐久大学看護学部 小林 恵子)
	第 12 回	佐久市における保健師活動の現状と実践活動 (担当 佐久市高齢者福祉課 柏木 美紀子)
	第 13 回	医療福祉 (担当 佐久大学人間福祉学部 根本 貴子)
	第 14 回	医療ソーシャルワーカーの実践 (担当 佐久総合病院佐久医療センター 渡邊 剛史)
	第 15 回	地域と福祉 (担当 佐久大学人間福祉学部 佐藤 嘉夫 * 授業収録時点)
評価 ※100 点満点の点数をどのように付けるのかを記載ください。(小テストの回数や配点等)	各回に実施する小テスト(全 15 回)の点数により、評点を付けます。小テストは ShinXia-LMS 上で実施します(多肢選択問題を基本)。各回のテストは 7 点満点とし、その累計点を総合評価とします。ただし 100 点は超えません。	
事前事後学習の内容	(事前学習) 授業タイトルと関連するキーワードをインターネットや文献で調べ、事前に情報収集を行ってください。 (事後学習) 各回の小テストに取り組むほか、授業動画と資料を元に＜育成すべき能力＞の視点と関連付けて学びを整理してください。	
履修上の注意	現代の地域社会で発生する様々な福祉課題に関するトピックについて、日ごろから関心を持って情報収集するように心がけてください。本授業で伝える事柄が身近な地域とどのように関連するのか、主体的に考えるようにしてください。	
教科書	指定しません。必要資料は授業毎に配信します。	
参考書	指定しません。必要資料は授業毎に配信します。	